

# 廃棄物コンサル事業開始

廃棄物処理やビルメンテナンス事業を展開するホームックス（豊田市錦町、資本金3000万円、餅原幹也社長）が長年の実務経験を活かし、廃棄物のコンサルタント事業を本格化。国際規格のISOやエコアクション21取得を支援したり、ゴミの減量やリサイクル推進によるコスト低減を図る取り組みを支援している。

〔後藤真一〕

## ホームックス

豊田商工会議所内会議室で2月にあった4回目の廃棄物セミナー。テーマは「廃プラスチック規制強化への対応と改正廃棄物処理法」。大手自動車部品製造や遊技、食品業などの担当者が真剣な表情で同社社員による話を真剣な表情で見つめた。（バイオディーゼル燃

同社では廃棄物実務担当者やISO担当者を対象とした廃棄物の基礎を学ぶセミナーを2年前にスタート。これまでに2005年12月にスター

トさせた事業で、家庭や店から排出されるてんぷら油を軽油の代替燃料

## 長年の実務経験活かし提案

料)にリサイクルして同社の収集運搬車両などに使用する「廃食用油循環リサイクル事業」や、同市の一般廃棄物処理手数料の改正の動きや廃棄物処理法改正の動向といった最新情報など紹介するセミナーを実施してきた。

バイオディーゼル燃料スタートさせたばかり。

だけでなく、回収した食品廃棄物をブタのエサとして再利用して店頭に並べたり、肥料化して野菜づくりを活かすなどリサイクルループ・循環型社会づくりの推進も強化。今月も生ごみリサイクルループ構築支援の事業をスタートさせたばかり。



インタビューに答える餅原社長

## 個別の勉強会やセミナー商品化

環境への配慮や処理施設の延命化などにより廃棄物処理法罰則が厳格化される中、長年の廃棄物処理のノウハウを活かして教社とコンサルタント契約を締結。ゴミを減らす取り組みなどを行った結果、大手企業では廃棄物管理の一元化が図られるとともに、従業員のモラルの向上やコンプライアンス強化が図られ、結果的に数千万円のコスト低減に成功。契約先から高い評価を得た。「お客様の立場に立ち、ゴミ減量に対して具体的に提案・コンサルティンングすることでパートナーとして協力していく」（同社）。

実際に契約先に出向き、実務担当者や新入社員向けへの教育やコンプライアンスの一環としての活動を行い、個別でのセミナー、勉強会を本格的に商品化。「日々の実務を行っている強みを活かして成果を出すような仕組みの構築と提案を働きかけ、安全安心を届けるパートナー企業として地域社会に新しい価値創造を提供し、貢献していきたい」と話している。



担当者の説明を真剣な表情で聞き入る出席者ら